



東アジア（日本も含む）の社会変容を考える

地域基盤研究機構

教授 上水流久彦（かみずるひさひこ）

連絡先 県立広島大学 広島キャンパス 1726号室
Tel 082-251-5178（代表番号）
E-mail kamizuru@pu-hiroshima.ac.jp



専門分野： 文化人類学 地域文化論 東アジア研究

キーワード： 多文化社会 歴史認識 ツーリズム 台湾
中山間地域

● ひろしまビジョンとの関わり

施策領域「地域共生社会」のなかでも特に「多様性を認め、それぞれの違いを尊重し合う環境づくり」並びに「外国人が安心して生活できる環境整備」の取組の方向に関わる研究を行っています。具体的には、異なる文化的背景を持つ人々の共生や、ジェンダー平等化です。加えて、施策領域「中山間地域」における「人材の育成・発掘、ネットワークの拡大」への寄与にも関心があります。

広島県の男女共同参画審議会の委員や、広島県内の市町の「まち・ひと・しごと創生」に関わる委員もしています。

● 研究概要Ⅰ

受験を検討している方々へ

共通教育では文化人類学などダイバシティ（多様性）に関わる科目を教えています。また、地域創生学部地域文化コース並びに生物資源科学部地域資源開発学科の専門科目も担当しています。

共通教育の授業の狙いは次のとおりです。グローバル化が進み、国外で仕事をする機会も増えています。また国内で仕事をするにしても文化的背景が異なる人々との関りは今後増えていきます。したがって、多様な価値観のなかで生きていける人材が社会では求められています。そのための基本的な考え方や素養を学生には学んでほしいと考えています。

地域創造学部の専門科目では、台湾を中心とした東アジア社会について教えています。東アジアの各国と日本は密接な関係にあり、これらの社会について理解を深めることは、日常生活のみならず就職するうえで大事なことです。なかでも私が専門とする台湾は、同じ価値観を有する日本のパートナーとして現在、その重要性を高めています。台湾理解のみならず、台湾理解を通して国際社会や日本社会を考える授業を行っています。

なお、広島県の県立高校の多くが台湾の高校と姉妹校提携を結んでおり、その提携活動の支援も行っています。

生物資源科学部の専門科目ではツーリズムの授業を担当しています。中山間地域において持続可能な魅力あるツーリズムが如何に可能になるかを学生と考えています。

● 研究概要Ⅱ

連携協力を検討している方々へ

地域貢献に関わる項目としては、ジェンダー平等を念頭においた職場環境の調査、中山間地域にある自治体の多文化共生並びに「まち・ひと・しごと創生」総合戦略等に関わってきました。

学術的には、トランスナショナリズム、コロナリズムに関心を持ち、研究を続けてきました。例えば、沖縄県八重山地方と台湾の歴史的関係、東アジアにおける日本植民地期の建築物にみる日本認識や歴史認識等です。加えて、最近では、宗教と東アジアの産業構造の変化や現代化・都市化との関係について祖先祭祀を事例に研究しています。少子化で子どもが少なくなる現在、今までとは異なる祈りの形が広がっています。